

第2回いなべ市総合計画審議会（進捗管理）会議録

会議名	第2回いなべ市総合計画審議会（進捗管理）
開催日時	平成29年5月18日（木）10:00～11:30
開催場所	員弁コミュニティプラザ2階 第1研修室
出席者	<p>【委員】6名（欠席2名、門脇よしゑ、伊藤久子） 丸山康人、中澤政直、小澤和茂、川瀬正幸、横井健二、川添将美</p> <p>【事務局等】16名 副市長、総務部長、企画部長、都市整備部長、市民部長、環境部、福祉部長、健康こども部長、農林商工部長、建設部長、水道部長、教育部長、政策課長及び政策課職員3名</p> <p>【オブザーバー】1名 ジャパンインターナショナル総合研究所</p>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 副市長あいさつ 3. 委員紹介 4. 会長あいさつ 5. 説明及び審議事項 ・いなべ市総合戦略事業取組経過報告について 資料 6. 意見交換 7. 閉会
配布資料	資料 平成28年度いなべ市戦略事業取組経過報告書 （地方創生推進交付金事業取組経過報告書）
公開、非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0人
議 事 概 要	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 副市長あいさつ 3. 委員紹介 委員及び事務局等紹介 4. 会長あいさつ 5. 説明及び審議事項 いなべ市総合戦略事業取組経過報告について 資料 <p>【事務局】 資料「平成28年度いなべ市戦略事業取組経過報告書」に基づき説明</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 意見交換 	

【会長】

目標数値の判定（ABCDの4段階判定）の内、達成率の低いC・Dについての説明があった。委員の皆さまからのご意見をいただきたい。

【副会長】

数値や目標値の設定について幾つか確認したい。

P25.26

- ・4-4 こんにちは赤ちゃん訪問事業の判定はAではなくBではないか。
- ・4-5 待機児童数は目標が0件で、平成28年度の実績は0件で、達成率は100%という評価だが、今後、実績件数が増えてしまった場合、目標0件に対して、どういった達成率の評価とするのが疑問である。

P27.28

- ・4-9 徘徊SOSネットワーク事前登録者数の目標数値が累計となっているが、毎年の登録者数で評価すべきではないか。また、同じ4-9の認知症サポーター数の目標数値は累計となっているのに数値が減少していくのはおかしいのではないか。

P29.30

- ・4-12 後期高齢者医療支援金、介護納付金の項目には目標数値の設定が無いが、実績値があるのだから、目標数値は設定できるのではないのか。

P31.32

- ・5-1 林道整備個所の判定が「一」となっているが、5箇所という目標数値に対して実績値が0箇所なので、「D」判定ではないか。

全体をみるとA判定が多くて良いことだが、A判定の中には平成32年度の最終目標数値を既に達成している項目もあるので、こうしたものについては目標数値を再設定する必要があるのではないか。このままでは、既に目標を達成したということで、事業を終了してもよいのではないかという声も出てくる。

こうした点について、行政経営の視点で再検討してほしい。

【説明者】

5-2 販路開拓件数は現在実績が3件となっている。既に目標を達成していることになるが、にぎわいの森は、今後より一層推進していく必要があるため、この項目については目標数値を見直す必要がある。

【説明者】

4-9 徘徊SOSネットワーク事前登録者数は、委員のご意見の通り累計ではなく単年の数値で再検討したい。また、認知症サポーターの目標数値設定が累計でありながら減少している点についてもご指摘の通り増加させていくべきなので、目標の見直しを行いたい。

【説明者】

4-12 後期高齢者医療支援金、介護納付金の項目に目標数値が設定されていない件については、市民からお金をいただくという内容なので目標として設定するのが難しいという判断だったが、再度目標数値の設定について検討したい。

【説明者】

5-1 林道整備個所の目標数値については、林業従事者が林道を必要とし、整備の要望があった

場合の対応となるものなので、目標を毎年5件としていることも含めて再検討したい。

【副会長】

P19.20

2-6の空き家バンク登録物件の契約成立数も累計目標だが目標値が下がっている箇所がある。同様に再検討してほしい。

【委員】

事務局の資料説明で、いなべ市のあるべき姿に向けての数値目標であるという説明があったが、そこが大切である。

数値も大事だが、数値は完璧なものではない。同じ100%という数値の評価でも、数値の中身はそれぞれに違うので、いなべ市のあるべき姿に向けた視点が必要である。

【会長】

数値目標は本審議会の委員など、客観的な立場の方のご意見もいただきながら設定する必要がある。仮に行政側でクリアが容易な目標を設定し、100%達成したという評価になっても意味がない。

また、対象者がどの程度いるのか等の情報がないと評価が行いにくい目標もある。不妊治療などについては、この数値が適正な目標かどうかの判断が難しい。評価のための情報を補足して説明する必要がある。

数値目標の妥当性については、今後も検証を続けてほしい。

目標を設定した後も、政策を実現するために必要な目標数値かどうかについては時間の経過とともにチェックを行い、再検討を続けてほしい。

繰り返しになるが、私は数値目標は必要だと思っている。関係者の共通目標としてしっかりと位置づけ、達成に向けて努力する必要がある。ただし、「数値目標の達成」と「政策目標の達成」を履き違えないように意識してほしい。

【事務局】

資料のP7に目標についての記載がある。各分野に目標があり、それを達成するためにそれぞれの項目に数値目標が設定されている。

委員長をはじめ各委員の皆さまのご指摘の通り、我々も目標達成のための数値目標であることを再度認識して、数値の見直しを含めて目標達成に向けた対応をしていきたい。

【会長】

数値目標は政策のピラミッドのそれぞれを達成するためのもの。各課で意識して対応してほしい。

【委員】

P24の市ホームページのアクセス件数が、リニューアルに伴い把握できなくなったということだが、今後はアクセス件数がとれないのか。

【説明者】

これまでは複数のページの閲覧を合計してカウントする形だったが、今後は一つでカウントする形式に変更されたということである。

【委員】

障がい者の雇用について、実際に仕事に就ける対象者がどのくらいいてこの目標数値になっているという補足が必要である。

人口減少ということだが、婚活は行っていないのか。また、他の地域からの移住で補うのか地

域内で増やしていくのかがわかりにくい。差し障りが無ければ既婚者の状況の変化などの数値の情報も補足してはどうか。また、市が直接実施しなくても、NPOなどの婚活の取組を市が支援するのも良いと思う。

【会長】

地方創生の中で各自治体が20代から40代の女性の増加に取り組んでいる状況がある。婚活は数年前まで取り組んでいて、成果が上がらずに一旦事業の見直しを行うという報告が昨年あげられていたと思う。

【説明者】

出会いプロジェクトを3年間実施したが結婚にはつなげられなかった。婚活は難しい課題だが、取組については再度検討し実施していきたい。

【会長】

今後も数値目標の評価に加えて、こういったご意見についても検討していければ良いと思う。数値目標の設定については、本日の各委員のご意見を参考にしながら事務局で検討を進めてほしい。

7. 閉会

その他事項

無し